

会員、準会員、関係各位

公益社団法人 日本技術士会 茨城県支部

## 第 24 回 技術士 CPD ミニ講座開催のご案内

公益社団法人 日本技術士会 茨城県支部

県南委員会 委員長 松井 透

研修委員会 委員長 小林 守

### ● 演題 : 「総合的流域水質管理からみる霞ヶ浦の水質対策」

● 日時 : 平成 28 年 5 月 14 日 (土) 13 : 30 ~ 15 : 30

● 場所 : 茨城県霞ヶ浦環境科学センター 会議室

〒300-0023 土浦市沖宿町 1 8 5 3 番地 (TEL029-828-0960)

● 講師 : 茨城大学 農学部 地域環境科学科

教授 黒田久雄 氏

● 講演 ; 13 : 30 ~ 15 : 00

#### 講演要旨

霞ヶ浦は、海跡湖であるため流域の末端に位置し、湖水面水位は太平洋の水位と同程度であるため水管理の難しい湖です。それは、霞ヶ浦の治水や利水の歴史からもうかがえます。また、流域末端に位置するため流域から排出される負荷量の影響を一手に引き受けるため、流域の発展は大きな環境負荷にもなる湖です。

霞ヶ浦の水質は、1970 年代後半に急激に悪化し富栄養化が進みました。アオコによる被害も発生しました。しかし、明治時代にもアオコは発生していたことが文献からも明らかです。もともと霞ヶ浦は富（過）栄養湖であるため、漁業など恩恵も多くあります。アオコを無くすということよりもいかにコントロールするかということが大事な点です。

霞ヶ浦の持つ環境容量は不明ですが、環境容量と流入負荷量とのバランスを取ることが最も大事な水質管理になります。おそらく現在は、流入負荷量が過剰なため負荷削減対策を行っています。生活系の負荷削減技術は進みましたが、農業・畜産系の負荷削減技術はまだ遅れています。これらの負荷削減のための基本的な背景を理解する必要があります。また、水質は水量にも依存しますので、流域からの水量増加も考える必要があります。

そこで、霞ヶ浦の歴史的背景を踏まえながら、現在の霞ヶ浦の問題点および対策について考えたいと思います。水質対策は主に農業・畜産系の負荷削減と流域土地利用の整備による環境負荷削減を取り入れた総合的流域水質管理的視点から述べたいと思います。

● 質疑応答 : 15 : 00 ~ 15 : 30

- 会費 : 会員 (準会員) 技術士: 100 円、非会員技術士: 200 円、一般: 100 円
- 参加条件: 事前申込要、定員 40 名先着順
- 申込先・申込期限
  - ・日本技術士会 HP 会員コーナ「CPD 行事等予定欄」、  
又は下記様式により、茨城県支部事務局の E-mail (Fax) で申込み願います。
  - ・申込期限: **5 月 10 日(火)迄**

●お問合せ先 : 公益社団法人 日本技術士会 茨城県支部 事務局  
 (株) ひたちなかテクノセンター内  
 〒312-0005 ひたちなか市新光町 38  
 E-mail : [ibaraki@engineer.or.jp](mailto:ibaraki@engineer.or.jp)  
 Tel : 029-219-5154 (松井携帯 090-3137-0347)  
 Fax : 029-265-5558

以上

## 茨城県支部 事務局 御中

E-mail : [ibaraki@engineer.or.jp](mailto:ibaraki@engineer.or.jp)

締切日 2016 年 5 月 10 日(火)

Fax : 029-265-5558

### 第 24 回 技術士 CPD ミニ講座 参加申込み

演題 : 「総合的流域水質管理からみる霞ヶ浦の水質対策」

講師 : 茨城大学 農学部 地域環境科学科 教授 黒田久雄 氏

		申 込	年	月	日
氏 名					
会社又は機関名		部署・役職名			
会員の有無	会員(部門名: )、非会員(部門名: )、一般				
Tel		E-mail			
住 所					
その他 ご要望等					

会員の有無は、いずれかに○印し、技術士の方は、部門名を記入願います。

以 上